



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月1日

上場会社名 日油株式会社
 コード番号 4403 URL <http://www.nof.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(氏名) 小林 明治
 (氏名) 金万 敬一
 配当支払開始予定日

TEL 03-5424-6600
 平成25年12月2日

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	77,552	6.6	7,447	32.5	8,586	42.6	5,588	51.9
25年3月期第2四半期	72,721	△3.7	5,620	△10.5	6,022	△10.5	3,678	△13.8

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 8,802百万円 (315.7%) 25年3月期第2四半期 2,117百万円 (△23.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	30.47	—
25年3月期第2四半期	20.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	169,482		111,370			65.3
25年3月期	164,007		103,674			62.8

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 110,646百万円 25年3月期 102,983百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年3月期	—	5.00	—	6.00	11.00
26年3月期	—	6.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	157,500	5.8	13,800	11.8	14,500	6.3	9,500	8.1	51.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	186,682,752 株	25年3月期	186,682,752 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	3,254,704 株	25年3月期	3,232,549 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	183,441,165 株	25年3月期2Q	183,468,350 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビューは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更	3
(3) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(4) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当上半期におけるわが国経済は、政府の経済対策等の効果により公共事業投資や個人消費に持ち直しの動きがみられ、円高是正を背景として輸出の増加基調が続くなか、緩やかな回復傾向にありました。海外経済は、中国の成長が鈍化する一方、米国やASEAN地域の景気は堅調に推移し、欧州景気も下げ止まりの兆しがみられるなど全般に底堅さもみられました。

当社グループを取り巻く事業環境は、国内需要家の生産に持ち直しの動きが見られ、また北米やアジアなどの海外需要が比較的堅調に推移したものの、中国経済の成長鈍化や原燃料価格の高騰などの影響が懸念される状況にありました。

このような事業環境下において、当社グループは、2013年度を最終年度とする「2013中期経営計画」の基本方針である「技術開発力の強化」と「海外事業展開の加速」を推進するとともに、高機能・高付加価値製品の拡販、生産コストの低減に努め、持続的成長に向けた経営努力を積み重ねてまいりました。

本年4月には新製品開発の加速や事業効率の向上を目的に、機能フィルム事業と電子材料事業を統合し、ディスプレイ材料事業部を発足させました。また、本年9月には海外事業展開の一層の加速を目的に、常熟日油化工有限公司（中国江蘇省常熟市）における脂肪酸エステル（脂肪酸誘導体）および有機過酸化物の製造設備の増設工事を終え、中国での供給体制を強化いたしました。

これらの結果、当上半期の売上高は、77,552百万円と前年同期比6.6%の増収、電子・情報関連の採算性向上やコスト削減などを進め、営業利益は、7,447百万円と前年同期比32.5%の増益、経常利益は、8,586百万円と前年同期比42.6%の増益、四半期純利益は、5,588百万円と前年同期比51.9%の増益となりました。

以下、各事業セグメントの概況についてご説明申し上げます。

①機能化学品事業

脂肪酸誘導体は、アジア向けの輸出が減少し、前年同期に比べ売上高は減少しました。

界面活性剤、エチレンオキシド・プロピレンオキシド誘導体は、輸出が増加したものの、トイレタリー関連の需要が減少し、売上高は前年同期並みとなりました。

有機過酸化物は、アジアでの需要が堅調に推移し、売上高は増加しました。

機能性フィルム・電子材料は、国内外でスマートフォン、タブレットPCなど中小型ディスプレイ向けの需要が増加し、売上高は増加しました。

特殊防錆処理剤・防錆加工は、アジアでの自動車向けの需要が好調であったため、売上高は増加しました。

これらの結果、機能化学品事業の売上高は、49,324百万円（前年同期比6.9%増）、電子・情報関連の採算性向上もあり営業利益は、4,860百万円（前年同期比21.2%増）となりました。

②ライフサイエンス事業

食用加工油脂は、製パン用機能性油脂を中心に拡販したことにより、前年同期に比べ売上高は増加しました。

機能食品関連製品は、新製品の拡販に注力したものの、既存品の出荷が低調であったことから、売上高は減少しました。

生体適合素材であるMPC（2-メタクリロイルオキシエチルホスホリルコリン）関連製品は、化粧品および医療関連向けの出荷が堅調に推移し、売上高は増加しました。

DDS（ドラッグ・デリバリー・システム：薬物送達システム）医薬用製剤原料は、売上高は前年同期並みとなりました。

これらの結果、ライフサイエンス事業の売上高は、11,629百万円（前年同期比0.9%増）、コスト削減の効果もあり営業利益は、1,781百万円（前年同期比28.8%増）となりました。

③化薬事業

産業用爆薬類は、公共事業投資が堅調に推移し、前年同期に比べ売上高は増加しました。

宇宙関連製品は、ロケット向け製品の出荷が順調に推移し、売上高は増加しました。

防衛関連製品は、売上高は増加しました。

これらの結果、化薬事業の売上高は、15,980百万円（前年同期比11.7%増）、製品構成の影響もあり営業利益は、1,145百万円（前年同期比72.5%増）となりました。

④その他の事業

その他の事業は、運送事業および不動産事業から構成されております。その売上高は、618百万円（前年同期比18.8%減）、営業利益は、57百万円（前年同期比12.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末の総資産は、前期末に比べ5,475百万円増加し、169,482百万円となりました。

資産の増減の主な内容は、現金及び預金の増加5,235百万円、棚卸資産の増加609百万円、有形固定資産の増加1,084百万円、投資有価証券の四半期末時価評価等による増加3,818百万円、売上債権の減少4,640百万円等であります。

負債は、前期末に比べ2,221百万円減少し、58,112百万円となりました。負債の増減の主な内容は、有利子負債の減少1,684百万円、買入債務の減少852百万円、未払金、未払法人税等ほかその他の流動負債の減少849百万円、繰延税金負債の増加1,262百万円等であります。

純資産は、前期末に比べ7,696百万円増加し、111,370百万円となりました。純資産の増減の主な内容は、当第2四半期累計純利益5,588百万円、為替換算調整勘定の増加902百万円、その他有価証券評価差額金の増加2,284百万円、配当による減少1,100百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、当初予想（平成25年5月9日発表）に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更

従来、非連結子会社でありましたNOF AMERICA CORPORATIONは、重要性が増加したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(3) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、主として当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、法定実効税率を使用して計算した金額を計上しております。

(4) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,965	12,200
受取手形及び売掛金	34,274	29,634
商品及び製品	17,296	17,969
仕掛品	3,809	3,679
原材料及び貯蔵品	8,580	8,647
その他	4,655	4,003
貸倒引当金	△223	△236
流動資産合計	75,358	75,899
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	21,364	21,296
土地	19,640	19,648
その他（純額）	13,238	14,382
有形固定資産合計	54,243	55,327
無形固定資産		
その他	596	681
無形固定資産合計	596	681
投資その他の資産		
投資有価証券	27,298	31,117
その他	6,559	6,509
貸倒引当金	△48	△52
投資その他の資産合計	33,809	37,573
固定資産合計	88,649	93,582
資産合計	164,007	169,482
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,218	18,989
電子記録債務	1,492	870
短期借入金	3,100	1,591
1年内返済予定の長期借入金	462	462
未払法人税等	3,098	2,980
賞与引当金	2,919	2,912
その他	10,165	9,412
流動負債合計	40,458	37,220
固定負債		
長期借入金	8,044	7,900
退職給付引当金	4,113	4,152
その他	7,717	8,839
固定負債合計	19,875	20,892
負債合計	60,333	58,112

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,742	17,742
資本剰余金	15,113	15,113
利益剰余金	64,593	69,082
自己株式	△1,263	△1,276
株主資本合計	96,185	100,661
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,025	10,310
為替換算調整勘定	△1,227	△325
その他の包括利益累計額合計	6,798	9,985
少数株主持分	691	724
純資産合計	103,674	111,370
負債純資産合計	164,007	169,482

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	72,721	77,552
売上原価	53,287	55,941
売上総利益	19,433	21,610
販売費及び一般管理費	13,813	14,163
営業利益	5,620	7,447
営業外収益		
受取利息	28	58
受取配当金	408	376
為替差益	—	510
その他	396	434
営業外収益合計	833	1,379
営業外費用		
支払利息	76	46
為替差損	171	—
固定資産撤去費用	25	66
その他	158	127
営業外費用合計	432	240
経常利益	6,022	8,586
特別利益		
投資有価証券売却益	—	34
固定資産売却益	3	11
その他	0	—
特別利益合計	3	45
特別損失		
固定資産売却損	—	36
固定資産除却損	26	20
投資有価証券評価損	248	—
その他	12	—
特別損失合計	286	56
税金等調整前四半期純利益	5,738	8,575
法人税等	2,055	2,979
少数株主損益調整前四半期純利益	3,683	5,596
少数株主利益	4	7
四半期純利益	3,678	5,588

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,683	5,596
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,576	2,285
為替換算調整勘定	11	920
その他の包括利益合計	△1,565	3,205
四半期包括利益	2,117	8,802
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,112	8,775
少数株主に係る四半期包括利益	4	26

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注)1 (百万円)	合計 (百万円)	調整額 (注)2 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 (百万円)
	機能化学 品事業 (百万円)	ライフサ イエンス 事業 (百万円)	化薬事業 (百万円)	計 (百万円)				
売上高								
(1)外部顧客への売上高	46,127	11,528	14,304	71,960	761	72,721	—	72,721
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	41	908	9	959	3,455	4,414	△4,414	—
計	46,168	12,436	14,314	72,919	4,216	77,136	△4,414	72,721
セグメント利益	4,011	1,382	663	6,057	65	6,122	△502	5,620

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送、不動産販売および管理業務等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△502百万円には、セグメント間取引消去6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△509百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注)1 (百万円)	合計 (百万円)	調整額 (注)2 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 (百万円)
	機能化学 品事業 (百万円)	ライフサ イエンス 事業 (百万円)	化薬事業 (百万円)	計 (百万円)				
売上高								
(1)外部顧客への売上高	49,324	11,629	15,980	76,934	618	77,552	—	77,552
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	298	1,197	6	1,502	3,568	5,071	△5,071	—
計	49,622	12,826	15,987	78,437	4,187	82,624	△5,071	77,552
セグメント利益	4,860	1,781	1,145	7,787	57	7,844	△396	7,447

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送、不動産販売および管理業務等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△396百万円には、セグメント間取引消去2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△399百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。